

■ JTEX とは

Dior、LouisVuitton、CELINE と云った大手ラグジュアリーブランドと日本の中小テキスタイルメーカーとの商談の場です。今では年間 2 億円以上の取引実績を持ちます。

世界のラグジュアリー市場は今、180 兆円(1.6 兆ドル)の市場と云われており(* Bain & Company の調査資料による)、年率で 8%の成長を維持しています。(* 世界の成長率は 3~4%)

その内、我々の業界が関係するファッションの服飾市場は 1000 億ドル(11 兆円)で日本のファッション市場は 9 兆円程と云われていますので、それよりも大きな規模です。

我々は日本の各地方の伝統技術を伝える織物、編物の中小工場と共に 2004 年からこの超成長市場である欧州のラグジュアリーブランドへの日本のテキスタイルの売込みを始めました。

名も知られぬ日本の弱小企業の集まりが、世界的に有名な高級ブランドの門を叩く所から始まり、著名ブランドのデザイナー、バイヤーとのプレゼンテーションを行う為のアポイントを取るのも大変な苦勞でした。

苦心の中、パリのデザイナー・バイヤーにプレゼンテーション定期的に行える場を作ろうと云う事から JTEX showroom と云う名で、テキスタイルの展示商談会を 2006 年からパリで始めました。

■ JTEX 主催の有限会社湧元とは

2004 年 8 月に大阪市でテキスタイル・生地 of 輸出販売を業として産声を上げました。

一貫してテキスタイル・生地 of 輸出を行っています。

一方で地方の行政機関からの受託で海外のバイヤー招聘や輸出セミナー、個別企業の輸出事業のコンサルティングも行っています。

■ JTEX showroom の軌跡

展示商談会を開催したものの、やはり苦勞は広報と集客です。

試行錯誤の末、日本のテキスタイル・織物生産の技術を大変レスpektしてくれる PR エージェントと知り合った事が大きな転機となり、その PR エージェントの協力で集客も進む様になって来ました。やはり継続は力de、この商談会の名前もパリのデザイナー・バイヤーの間では有名になりました。

■ JTEX showroom のパリでの成功

来場者の増加と共に商売も増えて来て、この商談会を縁に 5 年程前からは 1 億円以上の売上に繋がっています。その成約の大きな要因として、日本は先進国の中で唯一伝統工芸技術・手仕事 that 体系的・産業的に残っている国である事です。欧州のラグジュアリーブランド LouisVuitton の旅行鞆、Herems のハンドバッグ等は職人技を売りとして、世界に市場を広げて来ましたが、EU の統合やグローバル化の中で、欧州の若者が職人の世界である旧来の徒弟制度を嫌って継承して行かない事が大きな理由です。

ラグジュアリーブランドは職人技を自らの成長エンジンと捉えていて、世界中の職人技のリサーチ

に余念がありません。ラグジュアリーブランドのニーズと我々JTEX チームのコンセプト「日本でしか出来ないものを紹介する」が上手くミートしたのが成功の要因です。今では JTEX チームは日本の最高技術を持ったテキスタイル生産者の集団というブランドイメージが定着しました。

■ コロナ禍以降の変革に立ち向かう

近年は大変順調に JTEX showroom をパリと NY で続けて来ましたが、コロナ禍で渡航も出来なくなりました。日本においては、ファッション市場の収縮が止まらず、JTEX Showroom に参加の各テキスタイルメーカーは時短操業を余儀なくされている状況です。世界でも、我々のお得意先であるラグジュアリーブランド各社も 2020 年は 25～30%の売上を失っており大変厳しい状況です。

しかし、一方で、コロナ禍を契機にサステナブルをテーマとした素材への需要は大きく高まっており、JTEX でも昨年の輸出額は全く落ち込んでいません。我々は今を良い転換期と捉え、サステナブル装備をしっかりと、日本でしか出来ない技術を旗印に新たなバイヤーとの出会いや市場創造を目指して行きます。

【お問合せ先】

有限会社湧元 大阪府中央区平野町 4 丁目 7-8-806 www.yugen.jp

電話:06-6282-7357

担当:池田 豊 携帯電話 :080 3791 7378

E-mail:y_ikeda@yugen.jp <https://j-tex.com>